

朝熊山（あさまやま）

朝熊山は、高さ 555 メートルで、伊勢志摩国立公園で最も高い山です。その土は、蛇紋岩を含んでおり、海岸性の草や木の成長を抑制します。そのおかげで、観光客は、伊勢湾と鳥羽湾の島々、太平洋を 360 度のパノラマで見ることができます。近くにある展望台の足湯に浸かりながらこの風景を楽しんでみましょう。頂上付近には 15 分ほどの散歩道があり、ツツジの一種であるジングウツツジといった植物を見られます。展望台へは車でも行くことができるほか、朝熊駅からの登山道をハイキングすることもできます。

次に、金剛證寺に訪れてみましょう。これは 9 世紀にたてられた仏教のお寺で、朝熊山の頂上近くにあり、ここには文化的興味をそそるものが色々あります。例えば、蓮の池に囲まれた半円形の美しい赤い橋があります。奥の院（内部の聖地）の墓地は、亡くなった祖先への祈りを捧げるために人々が訪れる場所です。伊勢志摩地域の伝統に従い、人々は、卒塔婆という木でできた背の高い墓標を立てます。これらは奥の院に通じる道に並んでおり、中には 8 メートルになるものもあります。